鴻南中だより

令和3年
5月26日発行

No. 2

〒753-0815　山口市維新公園4丁目7-1
TEL 083(922)2475　FAX 083(922)2529
ホームページ　http://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/konan-j/　ブログ「好きです鴻南」

鴻南中webページ

雨ニモマケズ・風ニモマケズ・・・

「観測史上２番目に早い梅雨入り」が告げられ、これから２か月近くも長雨が続くと思うと、気分まで湿りがちです。そのうえ、相変わらずコロナ関連のニュースばかりが耳に届き、ますます気持ちが重くなりますが、そんな人間世界の様子をしり目に、動じることなく着々と夏の装いを整える自然界に畏敬の念を抱きます。お日様や雨の恵みに感謝しながら、日本の四季を味わい楽しむ心を忘れたくはないものです。雨に艶めく紫陽花の美しさが、私たちの心を慰めてくれるようです。

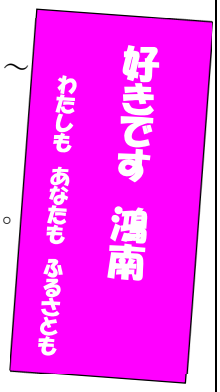
鴻南中では中間テストを終え、２・３年生は、選手権に向けて全力投球の６月。１年生もすっかり中学校の日常に馴染み、生活リズムを獲得できたころかと思います。季節の変わり目は体調を崩しやすいですが、元気に過ごし**「夏ノ暑サニモマケヌ　丈夫ナカラダ」**で、夏本番を迎えたいと思います。

廊下に添えられた紫陽花

「好きです　鴻南ネット」開催!

５月２０日（木）本校コミュニティルームにおいて、今年度、第２回目の鴻南地域**協育**ネットコーディネーター連絡会を開催しました。鴻南中学校区にある、大歳・吉敷の両地域交流センター、両小学校、総合支援学校から地域担当の方々、さらに本校地域コーディネーターの幸坂様・平田様・水田様をお招きし、毎月一度「地域の子どもたちを地域で育てる」のスタンスで、様々な活動の計画や情報交換を行っています。今回の話題は、

①昨年末に決定したキャッチフレーズの周知と広報活動に向けて～**キャラクター募集**～
②協育ネットあいさつ運動ボランティア活動について～**６月７日（月）より活動開始**
③１年生の「**地域学習**」に関する地域のみなさまへの協力依頼
④**少年リーダーズ活動**の拡大～朝田古墳群への訪問活動～　を中心に話し合いました。



幟旗完成予想図

【キャッチフレーズ】

好きです　鴻南　～　わたしも　あなたも　ふるさとも　～

私たちの思いを、未来を担う子どもたちへつなげるために

- ○ 自分自身を好きになって、自分を大切にしてほしい。
- ○ つながりを通して人と積極的に関わり、相手を大切にできる人になってほしい。
- ○ ”ふるさと鴻南”を愛し、地域のために貢献できる人になってほしい。

おいでませ！コミュニティルームへ～地域のお年寄りとお話ししよう！～

地域のお年寄りの皆さん、学校で生徒とお話をしにいらっしゃいませんか？生徒が地域に住むお年寄りとお話しすることや、昔の話を聞かせていただくことにより、地域や伝統を知り郷土愛を育むこと、地域との交流が生まれることを目的として、コミュニティルームを開放予定です。詳細が決まり次第、ご案内します。

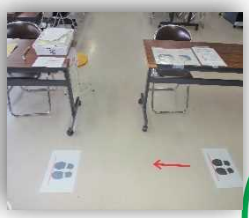
ご来校、ありがとうございました。～部活動保護者会～

５月８日（土）午後は、部活動保護者会にたくさんのご来校をいただき、当初の目的を果たすことができました。特に、一年生の保護者の皆様に、中学校入学後、お子様の様子を心配されていらっしゃった方も多いと思います。部活動担当との懇談を終えられ、安心された方もいらっしゃったのではないでしょうか。お忙しい中、ありがとうございました。

各種検診の結果から

生徒の健康状態を把握するため、年に一度、一人８種類の健康診断を実施しています。養護教諭の指導のもと、昨年以上の感染予防に万全を期して進めています。時間短縮に協力する生徒の受診態度が立派で、校医先生から「素晴らしい!完璧です!!」とお褒めの言葉をいただくこともありました。

検診は結果が返されてからがさらに大切で、要受診の場合は、早めの受診をお願いします。



山口県中学校春季体育大会の結果

５月１５日（土）・１６日（日）に、開催された県大会では、ソフトボール女子・陸上・テニス・柔道・体操が支部代表として出場し、強豪揃いの中、大健闘しました。

悪天候にも関わらず頑張った選手のみなさん、お疲れ様でした。保護者や地域の方々のご理解・ご協力のお陰様で無事に開催されました。ご声援をありがとうございました。

㊗３位入賞　柔道　坂野　弘幸・安村　心大

続・ある日の光景

４月号で紹介した「皮一枚で命をつないだバラの花」、その後、枝の最先端に、わずか一輪だけつぼみを付けていました。そして連休明け５月６日に見上げてみると、太陽に向かって精一杯花びらを広げ、見事な花を咲かせていました。わずか１０日間、精一杯生き抜いて、一つの命を終えようとするその凛とした姿が、何より美しく、また新たな感動を与えられた一日でした。